

夢見るホッケー教室

supported by  損保ジャパン



In 愛媛県松前町 実績報告書

- 趣 旨 愛媛県松前町の子どもたちに対して、ホッケーの楽しさを伝えると共にホッケー競技の普及へつなげる。また、コロナ禍のためスポーツをする機会が減少している状況を踏まえて、改めてスポーツの楽しさを伝える。
- 主 催 公益社団法人日本ホッケー協会
- 後 援 松前町教育委員会
- 主 管 愛媛県ホッケー協会
- 期 日 ① 令和4年12月10日(土) 9:00~11:30 小学生 39名
② 令和4年12月10日(土) 13:00~16:00 中学生 16名
ジュニアアスリート 38名
② 令和4年12月11日(日) 9:00~12:00 高校生・成年女子 40名
- 場 所 愛媛県伊予郡松前町鶴吉118番地1
松前町国体記念ホッケー公園 ホッケー場
- 参加費 無料
- 講 師 富田 恭平 (J-STAR プロジェクト実施副責任者)
松永 由華 (旧姓：吉川 北京オリンピック代表)
早戸 和希 (南都銀行 SHOOTING STARS)
谷光 未有 (ドイツ：TSV Mannheim)
山下 彰子 (元日本代表)
- その他 新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施する。
なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、急遽事業を中止することもある。
- 担 当 松前町教育委員会 社会教育課 吉岡
TEL：089-985-4142
Mail：726hockey@town.masaki.ehime.jp

○教室内容

12月10日(土) 9:00~11:30 小学生

9:00 開会式

9:10 w-up アクティビティ

- ・スティックを使ったリズム運動
- ・みんなでドリブル

9:30 スキルトレーニング

① DFの身体の使い方

1対1

② レシーブ、ストローク

→三角パス、マーカーの間を通す

③ 3ゴールゲーム(1v1v1)

→シュートを意識する

→カラーボールを使って反応と頭を使うトレーニング

④ GK

- ・防具の説明(名称や役割、ケアの仕方など)
- ・防具を使わずにキャッチボール(肩甲骨・肩の可動域をあげる)
- ・ストレッチの基本
- ・足元でのボール操作の基本練習
- ・ハンドリング

10:50 ゲーム(講師も一緒に)

11:20 質問タイム

11:30 終了

12月10日(土) 13:00~16:00 中学生(経験者)・ジュニアアスリート(未経験者)

*愛媛県ジュニアアスリート発掘事業

13:00 開会式

13:05 w-up

- ・中学生(経験者)
リズムリフティング
- ・ジュニアアスリート(未経験者)
ホッケーのルール
スティックの持ち方
ドリブル
リフティング

13:30 スキルトレーニング

① DFの身体の使い方

1対1

② ドリブル

→フォアターン、ジグザグターン

→右抜き

レシーブ、ストローク

→四角パス、三角パス(間通す)

→ダイレクトパス

③ 3ゴールゲーム(1v1v1)

→シュートを意識する

→カラーボールを使って反応と頭を使うトレーニング

- ④ pod を使ったスティックコントロールスキル
- ⑤ GK
 - ・ 防具の説明（名称や役割、ケアの仕方など）
 - ・ 防具を使わずにキャッチボール（肩甲骨・肩の可動域をあげる）
 - ・ ストレッチの基本
 - ・ 足元でのボール操作の基本練習
 - ・ ハンドリング
 - ・ キック（ローテーションキック）

14:50 ゲーム（講師も一緒に9）

15:30 ドラッグフリック／P S O 対戦

15:50 質問タイム

16:00 終了

12月11日（日） 9:00～12:00 高校生・成年女子

9:00 開会式

9:05 w-up アクティビティ（リズムリフティング）

9:30 スキルトレーニング

- ① レシーブスキル、考え方
- ② ・ 三角パスシュート
 - ・ 動きながらレシーブしてシュート
 - 逆ポストにタッチ1枚
- ③ 2v1（速い攻撃）
 - 早く攻めるためのポジショニング、スキルの選択
 - 1v1 から 3v3
 - 攻守の切り替えの要素を入れた、人数の増える対人
 - ゴールスコアリング
 - ベースラインの突破からゴール前でのシュート
- ④ GK
 - ・ 防具の説明（名称や役割、ケアの仕方など）
 - ・ 防具を使わずにキャッチボール（肩甲骨・肩の可動域をあげる）
 - ・ ストレッチの基本
 - ・ 足元でのボール操作の基本練習
 - ・ ハンドリング
 - ・ キック（自らの蹴りたい場所に、蹴りたい力で蹴る練習）

10:50 ゲーム（講師も一緒に）

11:20 ポジションごとに質問・実技

- ① ドラッグフリック講座
- ② DFスキル
- ③ シュート／ドリブルスキル

11:50 質問タイム

11:00 終了

○教室風景映像

<https://youtu.be/J4aJ8NAi3bc> （松前町教育委員会より）

○所感

松前町教育委員会 社会教育課 ホッケー係 吉岡様

コロナ禍での実施となったが、感染症対策など十分に行いながら開催した。未経験者の募集も行いたいところだったが、コロナ禍のため経験者と本県ジュニアアスリート選手のみでの参加とした。

ホッケー教室の序盤では、スティックとボールを使い音楽に合わせながらのアクティビティからスタートしたことで、子どもたちの笑顔がだんだん増えていき、その中でホッケーの楽しさを感じながらスキルを学ぶということが出来たと感じた。その後は、5人の講師がそれぞれ専門的なスキルを指導していただき、レベルの高い技術や今まで知らなかった知識も得ることができ、短い時間でもスキルアップしているのを感じた。

最後に、このホッケー教室を通じて「ホッケーの楽しさ」が得られたことは間違いない。今後もこの教室を通じて、子どもたちだけではなく指導者の指導力向上にも一役を担えたと感じ、この経験を活かして、今後の競技普及及び競技力向上に繋げて行きたい。

講師：富田 恭平 (J-STAR プロジェクト実施副責任者)

小学生から高校生まで人数の多さにビックリ。愛媛国体を機にホッケーが根付いてるなあと感じた。元気な子ども達がたくさんいたので今後は楽しみ！

講師：松永 由華 (旧姓：吉川 北京オリンピック代表)

愛媛県の選手の雰囲気は大人しすぎず、明るすぎず、穏やかな印象。課題に対しては黙々と取り組める選手が多かった。そのおかげかコーチの課題に対して意欲を見せる選手が多く、ホッケー教室としては少ない時間で賑やかに、そしてスキルの習得もあったのではないかと感じた。コーチ側も一生懸命話を聞く選手に「伝えたい欲」が出てやりがいを感じた。愛媛県ジュニアアスリートとのホッケーはとても刺激的だった。地元のコーチや顧問の先生からも質問されることがあり、GKの指導はやはり難しいことも再認識した。前向きな課題が発見されたいい機会だった。参加できてとても良かった。

講師：早戸 和希 (南都銀行 SHOOTING STARS)

愛媛県の選手、コーチの方々の熱心さや関係者の方々のホッケー発展へのサポートの強さを感じた。また、ジュニアアスリートが積極的に参加できる所も魅力的だと感じた。自分自身が兼任コーチとして普段活動している中で、いかに分かりやすく端的に伝えられるかを意識しているが、今回のホッケー教室で様々な質問を受けることもあり、改めて指導する側の難しさを感じ、個人的にも取り組み方や考え方の勉強になった。

講師：谷光 未有 (ドイツ：TSV Mannheim)

愛媛県の選手、コーチは向上意欲がとても高く、コーチングの楽しさを改めて感じた。また、自分が日本と海外で経験したことに興味を持ってもらえて、多くのことを伝えることができた。人や環境がとても整っているため、今後の愛媛県のホッケーから目が離せない。今回、ホッケー教室に参加させてもらえて素晴らしい経験をする事ができた。

講師：山下 彰子 (元日本代表)

国体以降の活動も町として積極的に、ジュニアアスリートプログラムでホッケー未経験の子供たちがホッケーに触れる機会があるということは、今後の日本ホッケー界にとっても貴重な取り組みであると感じた。こういうきっかけをたくさん作り、ホッケーの競技人口が松前町も日本全体も増えていけばいいと感じた。そのためにも、各地域と連携した活動をもっと増やしていきたい。

○教室風景





